



① 古賀書店

クラシックを主流とする老舗の音楽専門店。店の奥はほとんどがクラシック関連の本で埋められている。楽譜はもちろん、バッハやドビュッシー、モーツァルトなどといった大作曲家の音楽理論や伝記・エッセーに始まり、専門書や研究書なども豊富に揃うので、ここを訪れる人びとの中に音楽専門学校の学生や音楽評論家など、実際にクラシック音楽に携わる人たちが多いというも頷ける。細長い店内の入口近くには、クラシック以外のジャズやタンゴ、シャンソンやケルト音楽など世界中のさまざまな音楽に関する本が並び、思わず見入ってしまう。

03-3261-1239
千代田区神田神保町2-5



② ブンケンロックサイド

女性店主いわく「ズバリROCK!」の品そろえと、その店主の個性で人気の古書店「ブンケンロックサイド」。もとは父親が営む俳句専門の古本店だったが、平成元年、娘が継いで一転。ロックを中心に、アイドル、サブカルチャーの古書と雑誌の専門化に着手し生まれ変わった。ディープな空間だが、ジャンルや雑誌、テイスト別に分けられ、探しやすい。「ケモノ道のように狭い通路のいたるところに『オッ!』と思うモノがあります」(店主)。特に「絶版文庫・書籍の棚が濃い!」と口コミで評判だとか。古本好きのミュージシャンも多数来店。

03-3511-8226
千代田区神田神保町2-3 飯島書店ビル1F



③ 手塚書房

古典芸能や演劇関係の書籍ならこの専門店へ。すずらん通り東京堂書店の裏に位置するこの店では、歌舞伎・能・文楽・邦楽・舞踊・落語などの伝統芸能、および民俗・説話・美術・文学の書籍・CD・DVDを販売している。買い取りも積極的に行うため、直接問い合わせるのがおすすめ。歴史がある分、敷居が高く分かりづらいように思える伝統芸能だが、この店には専門的な研究書だけでなく、歌舞伎・能狂言・落語などをより楽しむための手引きとなる本や、当時の風俗について学べる本も並んでおり、初心者でも充分にその世界を味わうことができる。

03-3294-3338
千代田区神田神保町1-27 阿部ビル1F



④ ミロンガ

古書店街裏路地にある名喫茶店の1つ、「ミロンガ・ヌオーバ」は東京でも珍しい"タンゴ喫茶"。昭和28年(1953)の開店から歳月を重ねたレンガ造りのほの暗い店内に、アルゼンチンタンゴが常に流れ、夢心地になる。自慢は、リクエストもできるLP500枚以上&CD170枚のタンゴコレクション、炭火焼コーヒーそして世界のビール(約30種)。昼夜通してコーヒーもお酒も楽しめる。この地にはかつて喫茶兼酒場の「ランボオ」があった。作家の武田泰淳と出会い、結婚し、随筆家となった武田百合子が看板娘で有名だった店だ。

03-3295-1716
千代田区神田神保町1-3



⑤ ボヘミアンズギルド

「ボヘミアンズ・ギルド」は、大正9年に池袋に開業した夏目書房の支店で、平成16年に神保町に出店。店名の由来の通り、「慣習にとらわれない自由奔放な芸術家たちの作品」を集める。1階は洋書や写真集、美術書が中心。2階は絵画や稀覯本、自筆物などが並ぶ。特に竹久夢二のオリジナルは100点以上。商品はすべて手にとって見ることができる。「古本屋にこんなものがあるのかと驚かれるようなものを置きたいんです。柱は"心地よくて楽しい"。書店はアミューズメント要素がないとネット注文で完結してしまう」(店主)

03-3294-3300
千代田区神田神保町1-1 木下ビル1F・2F



⑥ ロックオンキング

家業の古本屋を10年間手伝いながら、その一角で音楽本コーナーを始め、平成16年に開業した音楽資料専門店「ロックオンキング」。音楽好きの店主が、自分が好きなものを陳列していた延長線上にこの店があるという。日本のロックを中心に、J-POP、フォーク、GSに関する貴重な資料がびっしり。雑誌バックナンバーは5000冊以上。アーティスト写真集、楽譜、バンドスコアも2000冊。思い出のライブのパンフ、ファンクラブ会報誌、限定DVDやポスター、フィギュアなどのグッズまで幅広い。

03-5281-2766
千代田区神田神保町1-19-1 藤本ビル3F



⑦ 南洋堂書店

昭和初期創業の「南洋堂書店」は、戦後、建築分野に特化。現在、数少ない建築関連書籍の専門店として国内外に知られる。新刊、古書、洋書を幅広く扱い、国内雑誌のバックナンバーも充実。建物は平成19年に1・2階を改装(設計:菊地宏)、3・4階にギャラリーを併設(設計:田井幹夫)。道路沿いの全面ガラスには建築家やイラストレーターによるウィンドーギャラリーを展開、道行く人の目を楽しませる。ギャラリーでは「東京の微地形模型」を常設展示。毎土曜には模型にさまざまなコンテンツを動画で投影する。

03-3291-1338
千代田区神田神保町1-21



⑧ 澤口書店 東京古書店

音楽、美術、写真、映画、建築など芸術書を中心に取り揃える「澤口書店 東京古書店」。店内にはマッチラベルやポスターなどの紙ものも充実しており、見ていただけでも楽しい空間が広がっている。芸術書の他にも、世界史や洋書、クラシックやジャズのCD、DVDなど、取り扱いは幅広い。2階には「くつろぎの空間」と呼ばれる喫茶スペースがあり、ドリンク片手に本に囲まれた空間でゆっくりと過ごすことができるので、休憩がてら立ち寄ってみては。

03-5577-6982
千代田区神田神保町1-7 源興ビル1・2F



⑨ 農業書センター

日本で唯一の農業所専門の書店、「農業書センター」。平成26年(2014)に大手町ビルから移転し、現在の場所へ。農業に関する書籍を約36000冊販売しており、一般書店では入手することの難しい専門書も扱っている。技術書、専門雑誌から料理本や園芸の本まで、店頭に並ぶ本は多岐に渡る。専門家でなくとも十分楽しめる店である一方、マニアックな本も多く、訪れる度に新たな発見がある。スタッフの方に声をかければ、本選びの相談にも快く応じてくれる。店へ続く階段はギャラリーになっていて、そちらもおすすめ。

03-6261-4760
千代田区神田神保町2-15-2 第1富士ビル3階



⑩ 村山書店

建築・理工系の書籍が多いが、心理・哲学・宗教・歴史・法律など人文系も揃う。コンディションのいい専門書をできるだけ安く提供する店で、発売からさして時間の経っていない新刊本もいち早く店頭と並ぶ。特に講談社学術文庫に関しては他の追随を許さないほど力を入れており、散り散りにならぬようまとめて引き取ることで在庫を支え、日本中の「探している人」の要望に応えている。それに加えてクラシック音楽やカメラ、ガイドブックなど趣味の本も豊富。店先には国内外の怪談・奇談小説などホラー関連の書籍が一箱程度並んでいることも。

03-3291-1617
千代田区神田神保町1-3



⑪ 慶文堂書店

図書館や博物館など公の機関をはじめとする専門家たちが、史料集めの際に頼る歴史の専門店。時代小説などを書く小説家や研究書の著者など、本を書く側の人が時代考証のための史料を求めて訪れることも多く、松本清張もその一人。老舗が並ぶ靖国通り沿いの中で、一見すると左右の古本屋に挟まれてすこし窮屈そうな小さな店だが、古書店を外見だけで判断してはならない。日本史・郷土史・東洋史を中心に宗教や美術、文学作品までもが書棚には並んでおり、さらに倉庫では店内の何十倍にもおよぶ書籍、価値の高い史料の数々が保管されている。

03-3292-0281
千代田区神田神保町1-1



⑫ 田村書店

仏独文学を中心にヨーロッパの哲学・歴史・美術に関する書籍、洋書の稀覯書を扱う専門店。入口両脇には神社の千社札のように、全集の値札がこれでもかと言わんばかりに、数限りなく貼られている。扱う全集の数が多すぎて、実物はお店の人に頼んで出してもらわなければならないほど。1階には日本の近代文学や、西洋の古典を中心とした翻訳もの、哲学書やその研究書、2階には洋書が並ぶ。蒐集家には料理本(原書)、挿絵本、美麗装丁本が特に人気。店頭では日本一質が高いと言われる特価セールが行われ、いつも多くの人でにぎわっている。

03-3291-0563
千代田区神田神保町1-7



選んだスポット



つながるスポット

Copyright(c) NPO 法人連想出版

